

## リニア新幹線 夢か、悪夢か

写真は NIKKEI BUSINESS 8 月 20 日号の特集「リニア新幹線 夢か、悪夢か」。リードから。時速 500 km、大阪まで 1 時間。夢の超特急リニアの工事が進んでいる。だが、談合問題や企業の撤退など、不穏なニュースが流れる。すべては闇の中で動き、首相の安倍から 3 兆円もの支援が流し込まれた。住民と自然をなぎ倒して進む、超巨大プロジェクトの真実。真夏の夜、見えるものは夢か、それとも悪夢か。



なかでも Part2 安倍「お友だち融資」3 兆円 第 3 の森加計問題に注目した。「森友学園、加計学園の比でない 3 兆円融資。その破格の融資スキームが発表される前、安倍と葛西は頻繁に会合を重ねていた。」

無担保で 3 兆円を貸し、30 年間も元本返済を猶予する。しかも、超長期なのに金利は平均 0.8%という低金利を運用する一。

首相の安倍晋三が、2016 年 6 月 1 日に記者の前で「新たな低利貸付制度で、リニア計画を前倒しする」と発表し、巨額の財投資金が、この瞬間に動き出した。

「いや、あの融資条件は、他に聞いたことがないですね」。同じ財政投融資という融資スキームを扱っている日本政策金融公庫の幹部も首をかしげる。「そもそも、30 年後から返すって、貸す方も借りる方も責任者は辞めているでしょうし、生きていくかどうか分からないですよ」

なぜ、JR 東海という一民間企業が、こんなに破格の優遇を受けるのか。特集では、安倍首相と葛西敬之・JR 東海名誉会長との親密な関係、「お友だち融資」に焦点をあてる。リニア着工から 1 年後の 2015 年 12 月から、安倍と葛西の面会が急増する。そして 2016 年 6 月 1 日、安倍が破格の融資を発言し、翌日に閣議決定される。

リニア中央新幹線については、名古屋にいる頃から関心があり、講演やレポートなどで取りあげてきた。3 兆円融資「疑惑」も、これにより JR 東海という民間企業の巨大プロジェクトから、官民一体の巨大公共事業へと変質したなど書いた。本特集「第 3 の森加計問題」という問いかけは、リニア新幹線をめぐる疑惑への新たな問題提起として注目していきたい。

(2018 年 10 月 6 日)